

(現行) 三重県廃棄物処理計画 (平成28~32年度) 数値目標に係る実績

取組方向	数値目標	単位	H25	H26	H27	H28	H28			目標 (H32)	全国平均 (H27)	原因と背景
							想定目標	達成状況	進展度			
Ⅰ ごみゼロ社会の実現	1人1日当たりのごみ排出量 ※災害廃棄物の量を除く	g/人・日	986	976	959	950	965 以下	102%	A	936 以下	939 以下	多様な主体が連携した3Rの取組や各種リサイクル制度の効果等により、着実に削減されてきている。
	資源化率	%	30.4	29.7	28.5	27.4	31.6	87%	B	33.3	20.4	RDF化や焼却灰の資源化等により資源化率は全国平均と比較して高い状況にあるが、近年は小売店や再生事業者等による資源回収が活発化しており、市町等における資源化率は低下傾向にある。
	最終処分量 ※下段の数値はH14(151,386t)比	t	50,042 33.1%	37,776 25.0%	36,049 23.8%	20,963 13.8%	41,453 以下	198%	A+	30,000 以下	H14比 46.3%	焼却灰の骨材資源化、プラスチックの焼却溶融などにより埋立ごみは減少している。
Ⅱ 産業廃棄物の3Rの推進	排出量 ※下段の数値はH8(5,768千t)比	千t	8,505 147.5%	8,601 149.1%	8,626 149.5%	8,225 142.6%	8,254	100%	A	7,920	H8比 93.2%	景気の動向もあり明確な削減傾向はみられない状況である。平成28年度は、建設業からの排出量(主にがれき類)が増加したが、製造業からの排出量(主に汚泥)が減少したため、総排出量は減少した。
	再生利用率	%	43.0	43.2	42.7	46.5	43.0	108%	A	43.6	53.2 (速報値)	近年ほぼ横ばい傾向である。平成28年度は、主に再生利用率の高いがれき類の排出量が増加し、再生利用率の低い汚泥の排出量が減少したことにより向上した。
	最終処分量 ※下段の数値はH8(2,085千t)比	千t	258 12.4%	269 12.9%	273 13.1%	265 12.7%	248 以下	94%	B	234 以下	H8比 16.7%	着実に削減されてきましたが、近年は明確な削減傾向はみられない状況である。
Ⅲ 廃棄物処理の安全・安心の確保	電子マニフェストの活用率	%	34.1	43.0	49.5	55.5	50	111%	A	60	42.5	関係業界への働きかけや、平成24年度から実施している地域機関7箇所への環境技術指導員の配置による事業者への個別訪問、及び電子マニフェスト操作方法の取得を目的とした複数回の研修会を開催したことにより、着実に伸びている。
	不法投棄等不適正処理事案の改善着手率	%	-	83.9	100	100	100	100%	A	100	-	法に違反している事業者等に対する行政処分を視野に入れた指導や悪質な違反者に対する速やかな行政処分、警察や関連機関との連携などにより、事態の早期は正や悪化の防止を図ったことによる。
	不適正処理4事案に係る行政代執行による是正措置の進捗状況	%	-	25.0	37.5	50.0	56.3	89%	B	100	-	目標達成できなかった1事案については、工事工程の一部見直しにより、平成28年度中に完了を予定していた工事の一部が完了せず、平成29年度の完了になったことによる。
	大規模災害に備えた災害廃棄物処理体制整備市町数	市町	4 13.8%	6 20.7%	14 48.3%	22 75.9%	15	147%	A+	29	21%	市町災害廃棄物処理計画の策定の支援を行うため、県は平成26年3月に市町災害廃棄物処理対策マニュアルを策定するとともに、計画策定に係る研修会の開催等の支援を行い、計画策定市町数は着実に増加している。

取組方向	数値目標	単位	H25	H26	H27	H28	H28			目標 (H32)	全国平均 (H27)	原因と背景
							想定目標	達成状況	進展度			
重点課題	使用済小型電子機器等の回収量	kg/人	-	0.32	0.36	0.54 (速報値)	0.55	98%	B	1.0	0.53	市町における使用済小型家電機器の回収を促進するために、不用品回収業者指導等に係る研修会の実施や行政連絡会議等でのみんなでつくるメダルプロジェクト等についての情報共有を実施したことにより、回収量は増加している。
	未利用エネルギー回収量	MJ/t	1,147	1,067	1,178	1,549	1,294	120%	A+	1,491	715	近年、鳥羽志勢広域連合、松阪市及び四日市市において、高効率なエネルギー回収型廃棄物処理施設が整備されたことにより、回収量は増加している。
	優良認定処理業者の認定件数	件	216	268	290	312	303	103%	A	420	63.1	優良認定取得のための手引きの作成や(一社)三重県産業廃棄協会との連携による相談窓口の開設等、取得しやすい環境を整備したことにより、認定件数は増加している。
	PCB廃棄物の適正処分率	%	37	45.3	豊田:59.7 北九:14.8	豊田:64.3 北九:29.7	60 30	107% 99%	A B	90	-	掘り起こし調査や立入調査等により、PCB使用製品やPCB廃棄物を把握し、JESCOでの早期適正処理等の指導を行ったが、北九州での受入れが平成27年度からとなったため、遅れが生じている。
	一定規模(100t)以上の不法投棄の発生件数	件	2	1	5	3	0	-	D	0	-	警察及び市町等と連携することで、新たな不法投棄等の発見に繋がった。新規事案は、すべて建築物の解体廃棄物の不法投棄であり、林の中や事業所内等の容易に発見できる場所ではなかったことから大規模化に繋がったと推測される。

※平成28年度の数値はデータの精査により一部変動する可能性があります。

※優良認定処理業者の認定件数における全国平均は、都道府県(政令市を除く)及び政令市の平均とし、産廃情報ネットの公開情報を引用しています。